

4軸でサイバー対策

アイエスエフネット エフネット 中小向けサービス

アイエスエフネットを整備した。エンドポが難しい企業には、人（東京都港区、渡辺幸イント（終端）セキュリテイでは海外ベンダーと連携する。従業員が1000人以下の中堅・中小企業を主な対象とし、セキュリテイ調査から運用管理まで総合的に支援する。セキュリテイ人材を配置すること

かける。情報漏えい調査、運用監視、標的型攻撃メールへの対応、セキュリテイ教育の四つの軸でサイバー脅威対策を支援する体制



▲セキュリテイラボではリモートでの運用・監視や顧客の相談対応などを行う

（運用）型の脅威検知・対応（EDR）などで運用代行も行う。終端セキュリテイに関しては、イスラエルのディープ・インスティンクト、米クラウドストライク、米マイクロソフトの製品を活用。アイエスエフネットのセキュリテイ専門組織「セキュリテイラボ」が運用するプラットフォーム（基盤）を通じて、トラブリー70円程度から。四つの対策のうち、運用監視の「ミエルダー」はエンドポイントの動作を監視し、脅威を検知・対応する。価格は1端末当た